

漢方外来へお越しの方へ 必ずご確認ください

ご不明、ご不安な点がある際は、お早めに soudan@womens-kampo.co.jp までお問い合わせ下さい。

【漢方薬の飲み方】

漢方薬は基本的には、食前や食間といった空腹時の服用がおすすめです。
ただ、複数のお薬を用いる場合や、食前に服用すると胃に負担になる可能性のあるものは、食後の服用を指示することもあります。

基本的には、指示通りの服用時間を守って下さい。

食前・・・食事の 30 分前

食間・・・食後 2 時間以上たってから

食後・・・食事の 30 分後

食事から時間を置くと飲み忘れてしまう場合は、服用することを優先し、
飲みやすい時間に飲んでいただいても構いません。

完全に飲み忘れてしまうと、期待する効果が得られないので、

1 日の服用回数と、量を守ることが 1 番大切です。

※一度に 2 回量服用すると、胃腸に負担をかけることがありますので避けて下さい。

3 時間ほど空けて、次の服用をして下さい。

【よくあるご質問】

Q. 他の病院の処方薬や、市販の薬と一緒に飲んでもいいですか？

A. 風邪やその他の体調不良で風邪薬・鎮痛薬・睡眠薬・抗アレルギー薬などの西洋薬を処方された場合、基本的に漢方薬と併用しても問題ありません。念のため、30 分以上あけて服用してください。他院の漢方薬や、市販の風邪薬に含まれる漢方薬の成分については、併用に注意が必要な場合があります。西洋薬や他の漢方薬を併用される際は、情報を共有いただけると幸いです。

Q. 妊娠したら、中止する漢方薬はありますか？

A. 赤ちゃんに影響する処方はお出しませんが、妊娠によってお身体の状態が変わるので、違う処方への切り替えが必要な場合があります。

[陽性判定が出ましたら soudan@womens-kampo.co.jp](mailto:soudan@womens-kampo.co.jp) まで必ずお知らせ下さい。

【漢方薬服用後に見られる身体の変化について】

■ 蕁麻疹、アレルギー反応

漢方薬の服用を開始した直後にこのような症状が見られる場合、漢方薬に含まれる生薬そのものにアレルギーを持っている可能性があります。すぐに服用を中止して、ご相談下さい。

■ 症状の悪化

漢方の副作用に、暈眩（めんげん）というものがあります。これは、漢方薬を服用したことによって、一時的に症状が悪化する時期があるというもので、身体の巡りが良くなる過程で起こり得ます。7 日以内に出現し、その後は改善に向かうことが多いですが、気になる時はご相談下さい。

■ 悪心、嘔吐

「良薬、口に苦し」と言われるように、漢方薬には、独特の苦味やえぐみを使って効果を発揮するものがあり、慣れない風味などで服用をご負担に感じることがあるかもしれません。受け入れるまでに少し時間がかかることがあります。慣れるまでの期間は、一度に飲む量を減らし小分けにして飲む、はちみつを混ぜるなどの対応策がありますが、服用を継続するうちに自然と飲めるようになることも多いです。オブラートや、服薬用ゼリーを使用して頂くことも可能です。漢方薬の種類や服用状況によって、対応策は異なってくるため、気になる方はご相談下さい。

■ 胃部の痛み、不快感

胃腸の状態については、問診にて必ず確認しておりますが、漢方薬に含まれる生薬の種類によって、またその時々体調によって、胃腸に負担がかかってしまう場合もあります。食後に服用いただくなど、お薬の量や飲み方を調節することがありますので、不調を感じたら必ずご連絡下さい。

【配送について】

■ 外来中に承った商品は、原則、翌営業日の発送とさせて頂いております。

■ 日付指定・時間指定がございましたら、事前にお知らせ下さい。

【ご返品について】

■ 誠に恐れ入りますが、開封済みの商品・到着後 7 日を経過した商品・納品書のない商品のご返品は受け付けておりません。不良品・弊社の瑕疵による返品については、納品書と引き換えに返品をお受け致します。

■ 事前に予測不能な副作用・アレルギーに際しても、上記の取り扱いが適用されます。

■ お客様のご都合のご返品については、送料はお客様のご負担とさせて頂き、不良品・弊社の瑕疵による返品につきましては、送料は弊社負担と致します。

また、決済確定後に払戻処理を行う場合（支払方法の変更も含む）は、事務手数料として税込 550 円徴収します。